

消雪パイプにより冬期の通行に 配慮した狭さくを設置



現地で狭さくの具体的な 位置や形状を住民と共有



写真提供:阿賀野市

広域図



背景の地図の出典:国土地理院

整備計画等 策定状況	生活道路対策エリア
対策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ゾーン 30 に指定 ➤ 単路部狭さく(片側)1箇所 ➤ 単路部狭さく(両側)1箇所 他
生活道路の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 朝夕の水原駅への送迎車による抜け道利用が多く、車両の走行速度の高い(30km/h 以上の車両が 58%程度*) ➤ 病院、診療所、保育園、介護施設などがあり、歩行者の通行が多い <p>*ETC2.0 プローブ情報</p>

設置の特徴

消雪パイプにより冬期の通行に配慮した狭さくを設置

物理的デバイスの概要

設置箇所



背景の地図の出典:国土地理院

設置内容

	内 容	備 考
設置箇所数	2 箇所	
設置時期	2017 年 9 月	
狭さくの形状	<p>【単路部狭さく(両側)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭小部の幅員 3m ・狭小部の長さ 2m ・すりつけ部の長さ 2m <p>【単路部狭さく(片側)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭小部の幅員 4m ・狭小部の長さ 2m ・すりつけ部の長さ 2m 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術基準を参考
構造及び付属施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム製ポール ・自発光錨 ・路面表示 ・路側帯のカラー化 	<ul style="list-style-type: none"> ・路側帯 : 緑
技術的な工夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆生活道路内の車両の速度抑制を図るため、対策エリア入口部に狭さくを設置 ◆夜間の視認性に配慮し、ゴム製ポールは部材全体で反射性が高いものとし、ポール基部に自発光錨を設置 ◆狭さくの長さは、沿道家屋の乗り入れ等に影響を与えないよう、官地の前面におさまるよう形状を調整 ◆住民や警察との協議にて、混雑時に車列のできる可能性がある箇所では、すれ違いが可能になる幅員(狭小部 4m)とした ◆冬期の通行に支障をきたさないよう、消雪パイプと併せて運用 	

設置状況

単路部狭さく(両側)



提供:阿賀野市

概観

単路部狭さく(片側)



提供:阿賀野市

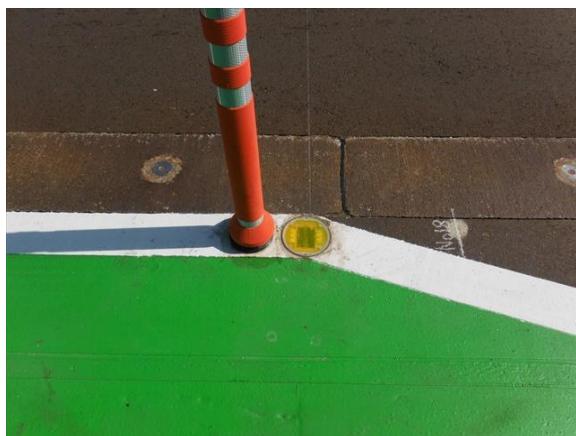
概観



通行状況



対策エリア入口部での狭さく設置



提供:阿賀野市

ゴム製ポール及び自発光錨



通行状況

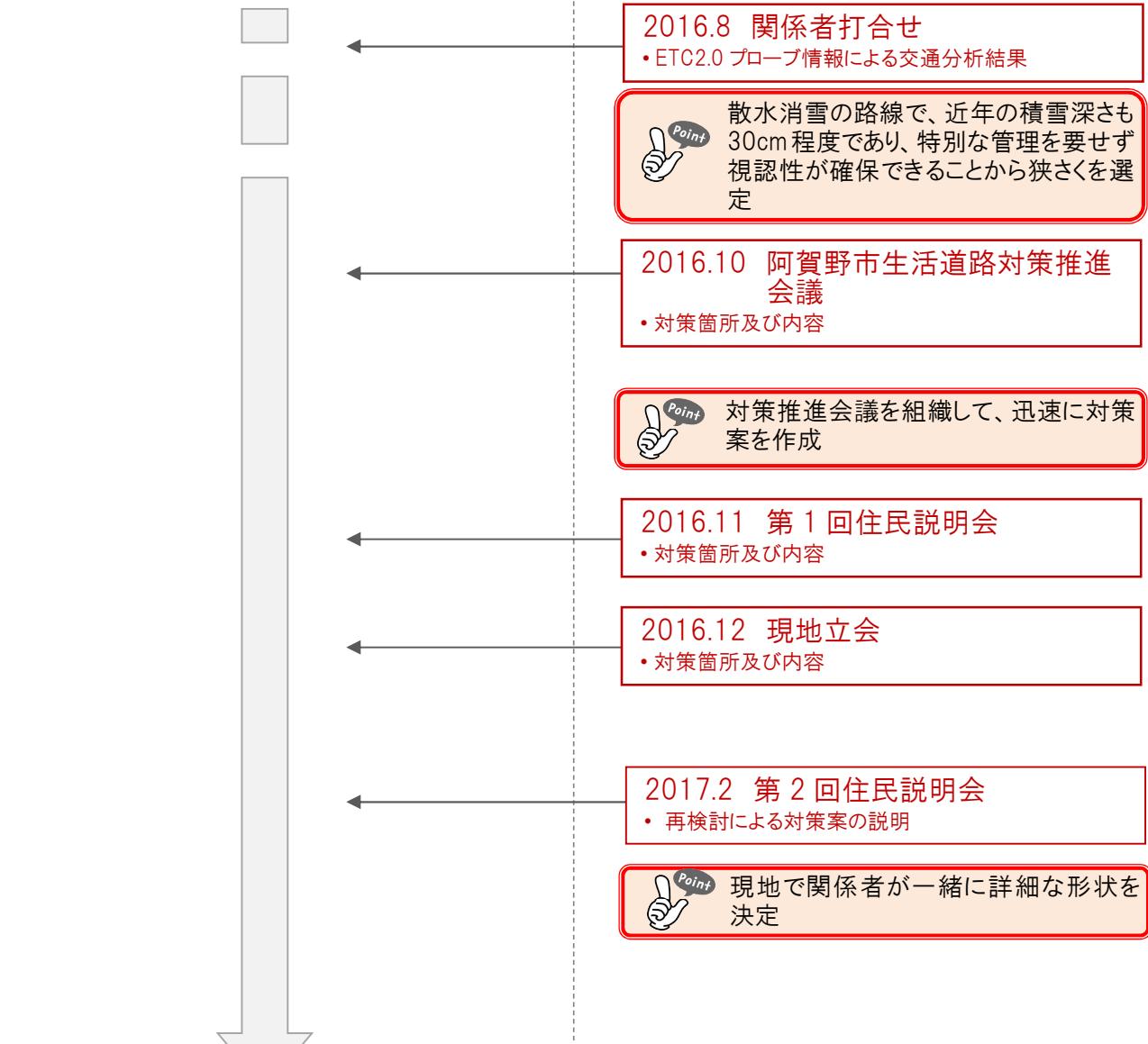
合意形成
のポイント現地で狭さくの具体的な
位置や形状を住民と共有

設置に至るまでの経緯と合意形成の概要

設置に至るまでの経緯
(道路管理者の動き)

合意形成の概要

生活道路対策エリア登録(2016.3)



本設置(2017.10)

- 単路部狭さく(両側)1箇所
- 単路部狭さく(片側)1箇所

PDCA の中の合意形成の内容とポイント

段階	説明手法・内容	道路管理者の考える 合意形成のポイント <small>Point</small>
現況調査 計画策定 <Plan>	<p>❖ 関係者打合せ</p> <p>実施日 2016年8月 参加者 国土交通省、阿賀野市、阿賀野警察署 提示資料 ETC2.0 プローブ情報による交通分析結果(国土交通省)、ゾーン30 整備について(阿賀野警察署)</p> <p>❖ 阿賀野市生活道路対策推進会議</p> <p>実施日 2016年10月 参加者 関連地区自治会長、小学校、保育園、国土交通省、阿賀野市、阿賀野警察署 提示資料 対策箇所及び内容</p> <p>❖ 第1回住民説明会</p> <p>実施日 2016年11月 参加者 自治会、阿賀野市 提示資料 対策箇所及び内容</p> <p>❖ 現地立会</p> <p>実施日 2016年12月 参加者 住民、阿賀野市 提示資料 対策箇所及び内容</p> <p>❖ 第2回住民説明会</p> <p>実施日 2017年2月 参加者 自治会、阿賀野市 提示資料 再検討による対策箇所及び内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 散水消雪の路線で、近年の積雪深さも30cm程度であり、特別な管理を要せず視認性が確保できることから狭さくを選定 対策推進会議を組織して、迅速に対策案を作成 狭さく設置箇所については、住民説明会を開催し、了解を得ることを条件に対策内容を合意 短期間で検討の大枠の合意を得た

対策実施 <Do>	<p>❖ 本設置</p> <p>運用開始 2017年10月</p>	
評価 <Check>	ETC2.0 プローブ情報等のビッグデータにより効果検証を実施 車両速度の低下を確認	
対策改善 <Action>	引き続き道路交通状況の確認を行う	

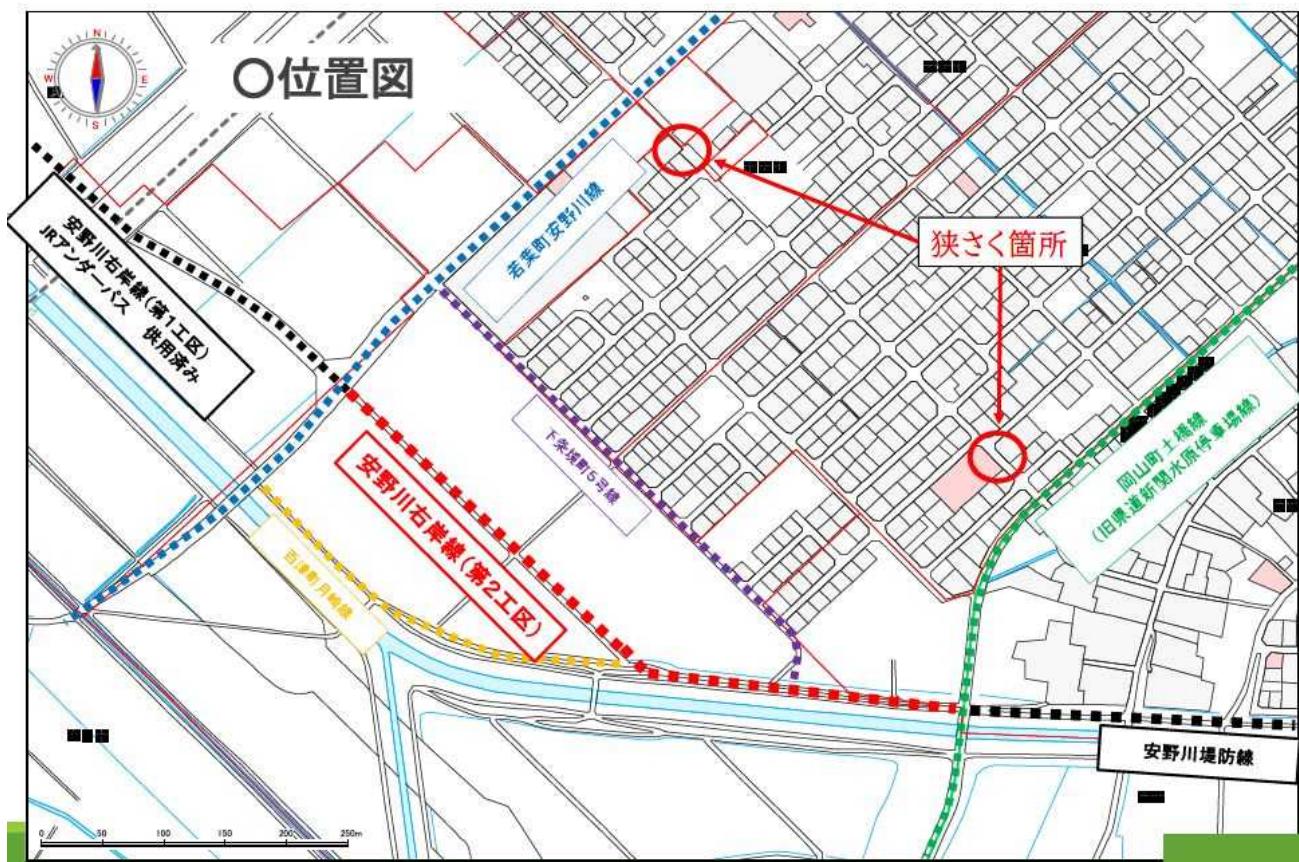
合意形成における道路管理者からみた特筆事項

円滑な検討に 結びついた点	<ul style="list-style-type: none"> 狭さく設置箇所について、様々な意見が出されたが、その都度計画の見直しを行い、住民との現地確認を重ね粘り強く着地点を探した。
考えられる 今後の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 詳細の形状や箇所を住民説明会で決定することにより、最後は行政と各住民とのやりとりになってしまったため、今後は行政主体となり住民説明会ではなく、地区全体で意見交換しながら検討する進め方にしたい。

NEW!

新潟県阿賀野市(緑町地区)

その他参考資料



提供:阿賀野市